あなたの「やってみたい」を応援します!!

ゆめこらぼ通信

第 31 号
平成26年6月1日
（隔月発行）

発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル１階

協働によるまちづくり

西東京市市民協働推進センター「ゆめこらぼ」は、本年度で開設から６年目を迎えています。

本市ではこれまで、「市民活動団体との協働の基本方針」の策定をはじめ、市民協働推進センターの設置、ＮＰＯ等企画提案事業の実施など協働によるまちづくりに向けた環境整備に努めてまいりました。

本年 4 月からは、これから 10 年間を見据えた第２次総合計画によるまちづくりをスタートさせましたが、その中においても「みんなでつくるまちづくり」を方向性の一つに掲げ、協働の視点を重視しつつ、持続可能で自立的な自治体経営を進めることとしております。

行政を取り巻く社会情勢として、少子高齢化や価値観の多様化などにより、これまでの画一的な公共サービスだけでは市民ニーズに応えることは難しくなっています。このことからも、より多くの分野において市民や団体、行政がみんなで考え、それぞれの長所を活かしながらまちづくりを進めていくことが重要です。

今後も、市民協働推進センター「ゆめこらぼ」を拠点として、市民活動の活性化を図り、協働によるまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、登録団体をはじめ市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 26 年 6 月　　西東京市長　丸山 浩一

協働コミュニティ課人事異動の紹介

平成 22 年の協働コミュニティ課発足以来課長を務めていた浜名幹男課長が 3 月末で退職となり、後任に古厩忠嗣課長が就任しました。

平成 20 年 2 月に策定された「市民活動団体との基本方針」は、市職員向けに協働について解説し、協働にあたっての基本方針等をまとめたものを基に市民向けに市の方針として取りまとめられました。

その際、企画部が市民に馴染み易いものになるようにデザインしたそうです。当時、古厩課長は企画部に所属していたそうです。

また、この場を借りて長年ご尽力をいただいた浜名課長に感謝したいと思います。

新運営委員会が発足

3 名の新運営委員を迎えて 4 月 15 日(火)に今年度第１回の市民協働推進センター運営委員会が開催されました。副委員長には退任された田辺広子委員に代わり、豊永ひとみ委員が選出されました。新運営委員は、以下の方々です。運営委員会は傍聴可能ですので、市民の皆様もどうぞお越しください。

池田干城委員（ごみ資源化市民会議）
紺野美子委員（NPO 法人移動サポートひらけごま）
谷　隆一委員（株式会社タウン通信）

広報力アップセミナー
「伝えるコツ」

市民活動の大きな課題の一つである広報力アップにつなげるため、認定 NPO 法人日本 NPO センター事務局次長の坂口和隆氏を講師にお迎えし、3 月 30 日(日)に「伝えるコツ」セミナーを開催しました。このセミナーは、電通が社会貢献活動として日本 NPO センターと取り組んでいるプロジェクトで、日本の市民活動がもっと広がることをめざし全国展開しているものです。

具体的な実例を交えたワークショップはとてもわかり易く、考え方や方向性をしっかり整理分析する必要性を改めて感じる気付きとなりました。

坂口氏のテンポのよい講義に、参加者 30 人は思わず引き込まれ、集中力が高く満足度の高いセミナーとなりました。

ゆめサロン
「地域の繋がりを育む対話の場」

4 月 19 日(土)、ゆめこらぼサロンコーナーで、登録団体「対話ラボ」によるゆめサロンを開催しました。

「対話ラボ」は、対話の手法のノウハウや実践を共有する活動をしている団体です。今回は、代表の松澤拓矢氏に、対話手法の一つ「ワールドカフェ」を中心に事例を交えながら活動の紹介と手法の説明をしていただきました。対話のきっかけづくりから、対話による効果や可能性等についてのお話に続き、議論とは違う対話が持つ意外な効果について説明がありました。

10 名の参加者からは活発な質問や意見交換があり、その後に行った参加者同士の対話を通して、対話の効果や大切さを改めて感じることができました。

NPO のための決算セミナー
「今年から活動計算書で決算報告をしよう」

4 月 26 日(土)に、税理士の間誠氏をお迎えして、NPO 支援事業の一環として、NPO 法改正に基づく活動計算書による決算報告について講座を開催しました。

講演では、市民に NPO 活動をより一層理解してもらうための会計報告について説明をしていただきました。そもそもの会計報告の意義を会計の基準、財務諸表の意味などから話され、「活動計算書」を初めとする決算報告書類の作り方やさらに NPO 法人関係の税務について、具体的で丁寧にわかりやすく解説していただきました。内容は経理担当でないと難しい側面がありましたが、参加者９人の大半の方が「満足」「参考になった」との評価でした。NPO 法人会計の全体を俯瞰する良い機会でしたとの声が聞かれました。

NPO のための労務講座
「法人を円滑に管理、運営していくための労務手続きや職場環境の改善について」

NPO 支援事業の一環として、社会保険労務士の高橋雅人氏を講師にお迎えして、NPO で必要になる労務マネージメントの講座を 5 月 23 日(金)に開催しました。

NPO で活動する人々を有給役職員、有償・無償ボランティアに明確な区分をしたうえで、有償ボランティアの労働者性、職場環境の整備、職場のトラブル事例等について解説していただきました。法律に基づいて適確な労務管理をし、職場環境づくりをしていくことが組織を守り、働く人のモチベーションを高め、円滑な活動運営につながることがわかりました。

13 人の参加者が熱心に受講され、さらに講演後、２組４人の方が組織運営のための労務管理について個別に専門相談を受けられました。

◆◆登録団体活動紹介◆◆

西東京こそだてひろば　ぽっぽ

新聞ビリビリ遊び

4月11日(金)「西東京こそだてひろばぽっぽ」主催の「ひろば」にお邪魔しました。今回のメインイベントは「新聞ビリビリ遊び」、どんなに散らかしても、この日ばかりはママからのお小言はありません。ママ達も童心に返って、思いっきり新聞をビリビリ破いたり、ゆったりとお茶したり、くつろいでいました。

ぽっぽの「ひろば」の目的は子どもをケアするというより、むしろ子育ての当事者である母親をケアすることだそうです。自分達の経験から、子どもから安心して目が離せる瞬間があれば、それが子育てにもいい影響を及ぼすと考えているそうです。ちょっと前に自分たちが経験したことから、こんなのがあったらなぁと思うことを次の世代のためにしてあげるって、とてもすてきなことだと思いました。そして、肩肘張らずとも、それぞれの立場で、子育て支援はできるのだと改めて感じました。

ごみ資源化市民会議

おちゃわんリサイクル

5月4日(日)田無庁舎のりさいくる市でごみ資源化市民会議の「おちゃわんリサイクル」を見学しました。

ごみ資源化市民会議は、市で回収していない壊れたお茶碗等をりさいくる市やアースデイ、地域のイベント等で回収しています。回収された物の多くはまだ使えるものです。お茶碗を譲ってもらうには30円をカンパします。壊れたお茶碗や引取る人がいないお茶碗を再生陶器の原料として多治見へ送る代金に充てられます。不要となったお茶碗を持ってくる人、それを欲しい人で大盛況。ちょっと待って！まだ使える食器はお茶碗リサイクルに！！次回は、7月6日(日)に田無庁舎で開催です。

子どもげきじょう西東京

えいごとマイムのバラエティー

5月16日(金)に行われたマイム博士こと、カンジヤマAさんによる「えいごとマイムのバラエティー」を取材しました。

学校で「on」を「上」と教わったとたん、他の言い回しに使えなくなる、とマイム博士。くっついていれば、下でも「on」、離れれば「off」を、おなじみの見えない壁のパントマイムで表現。日本語と違い、着る、かぶる、はくなど身につけることは、「put on」一つでOK!

ここで、お父さんが登場。会場が一体となってput on a scarf（スカーフ）！put on a wig（かつら）！put on a lipstick(口紅)！と叫べば、お父さんが女性に変身、take offで元通り。会場は笑いの渦に包まれました。

子どものための優れた舞台芸術の鑑賞と自主活動を行っている「子どもげきじょう西東京」の楽しい企画。最後まで楽しんでしまいました。

アースデイイン西東京実行委員会

2014アースデイフェア in 西東京

5月25日（日）に西東京いこいの森公園で、西東京市による環境フェスティバルと、アースデイフェア in 西東京が同時開催されました。

アースデイフェア in 西東京は、参加団体が36団体で、食器やキャップのリサイクル、遊び、展示、スタンプラリーなど多くのイベントが実施されました。

ネイチャートライアスロンでは、対象の５～10才の子どもたちが慣れないのこぎりで苦労した後、三輪車乗りと走りを楽しんでいました。あちらこちらで行列ができ、親子で遊びながら、また、身近なところから環境を考えるよい機会となる催し物でした。

「交流の集い」のご案内

登録団体をはじめとするNPO法人や市民活動団体同士のネットワークづくりを目指して「交流の集い」を開催します。

冒頭の講演でカリスマ創設者のリタイアを契機に、団体運営に悪戦苦闘した講師の体験談から、新たな発見、気づきをぜひ団体のステップアップにお役立てください。

日　時　6月28日(土)14：00～17：30
場　所　田無総合福祉センター　視聴覚室
内　容・講演会「活動パワーアップの秘訣！」
山崎宏氏(ホールアース自然学校事務局長)
・ステップアップのための対話と交流
・懇談会

実行委員募集

NPO市民フェスティバル

第６回NPO市民フェスティバル開催にむけて、実行委員会を立ち上げます。「NPO市民フェスティバル」および「お父さんお帰りなさいパーティ」の企画運営をしていただける市民活動団体や市民の方を募集します。

◆NPO市民フェスティバル第１回実行委員会開催予定
日　時　7月5日(土)18：30～20：00
場　所　ゆめこらぼサロンコーナー
定　員　20人
申　込　電話･ファックス･Eメールで①住所 ②氏名(フリガナ) ③電話番号を明記し、7月3日(木)までにゆめこらぼ「NPO市民フェスティバル実行委員」係へ

新たな登録団体＜平成26年3月～4月＞

◆言語交流研究所ヒッポファミリークラブ
目的：国や人種の違いを越えて、どんな言葉を話す人もコミュニケーションできるよう、多言語を自然習得する。

◆ヴィーガーデン　ザ・レジデンス管理組合
目的：ヴィーガーデンの居住者の利益を増進し、良好な住環境を確保する事を目的とする。

＜4月末現在でゆめこらぼの登録団体は116団体になりました。今年度は7団体が登録の更新手続きをしませんでした。＞

みんなの本棚

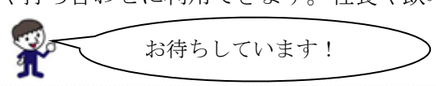
史上最高の経営者　安藤百福
日清食品カップヌードル開発秘話
浜本　哲治　著　2014年

この本では、日清食品が1971年に発売したカップ麺の歴史を通し、日清食品の経営理念を紹介している。現在では主食として食べられているが、当初は間食として開発された。欧米に即席ラーメンのセールスに行った際、紙コップに入れて湯を注ぎフォークで試食したことがヒントとされている。お湯があれば、3分で出来上がり、緊急時には、カップ麺は確かに助かると思う。カップ麺という、この小さきものにも、何に対しても一生懸命に頭を絞り、できる限りのことをするという日本人の精神が反映されていると思う。

コンビニでアルバイトをした時、カップ麺の種類と味の豊富さにびっくりした。焼きそば、ラーメンだけでなく、キムチ、しょうゆ、カレー、トマトなど、数えきれないほどの味があり、客の好みに合わせるために開発した結果だと思う。学生にとても人気があるのも頷ける。私が一番感心したことは、カップ麺開発当時の技術は未熟だったにも関わらず、困難に対し決してあきらめなかった精神である。全社員が団結し困難を乗り越えていった。外国人の私にとって、日本人のこの信念と執念を支える精神力にはとても感心させられた。（留学生　曲露滴氏）

編集後記

5月の連休はいかがでしたか？私はゆめこらぼにいました。土日はもちろん祝日も夜９時までオープンしています。サロンコーナーはちょっとした会議や打ち合わせに利用できます。軽食や飲み物もOK!



西東京市　市民協働推進センター　ゆめこらぼ
〒188-0012 西東京市南町5-6-18 イングビル1階
Tel:042-497-6950　Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
http://www.yumecollabo.jp/
ゆめこらぼ
モバイルページ
開館時間　午前10時～午後9時
休館日　毎週火曜日（祝日の場合は開館し次の平日が休館日）